

久喜市議会
令和5年6月定例会議
議員提出議案

議 案 目 録

意見第 1 号	同性婚の法制化を求める意見書	1
意見第 2 号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める 意見書	3
意見第 3 号	マイナ保険証に伴う国民の不安解消を求める意見書	6
意見第 4 号	教職員の長時間過密労働の解消を求める意見書	8
意見第 5 号	インボイス制度の実施の中止を求める意見書	10

意見第1号

同性婚の法制化を求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第14条の規定により提出します。

2023年6月26日

提出者 久喜市議会議員
猪股和雄
賛成者 久喜市議会議員
杉野修
岡崎克巳
田村栄子

久喜市議会議長 上條哲弘 様

同性婚の法制化を求める意見書

わが国には多くの同性のカップルが婚姻に相当する生活を営んでいます。しかし法律上は「同性婚」の制度が存在しないため、相続や財産の処分、親権、税、医療、年金など、さまざまな場面で、「婚姻」と認められないがための不利益を受けています。

本年5月、名古屋地裁で、同性婚を認めない現行の婚姻・家族制度は憲法に違反するとの判決がありました。ここでは法の下での平等を定めた憲法14条1項だけでなく、婚姻に関する法律の制定で個人の尊厳への立脚を求めた24条2項にも違反していると判断されました。一昨年来、札幌地裁における「違憲」判決、東京地裁における「違憲状態」の判決、大阪地裁判決では「将来的な違憲の可能性」を指摘するなど、同性婚を認めるべきとする法的環境が進んでいます。

すでに世界では34の国と地域が同性婚を認めています（2023年2月現在）。日本でのパートナーシップ導入自治体は300を超え、人口カバー率は7割を超えています。それでも「婚姻」に匹敵する法的効果がないがために限界があることは否定できません。

5月に広島で開催された主要7カ国首脳会議（G7サミット）首脳宣言では、「あらゆる人々が性的指向に関係なく、生き生きとした人生を享受できる社会を実現する」との文言が盛り込まれました。同性婚の法制化は今や世界的趨勢であり、国際的要請にも応えるものです。

婚姻の本質は同性・異性に関わらず2人で共同生活を営むことにあり、それを公的に保障するのが婚姻・家族制度です。にもかかわらず、同性カップルは国の制度による社会的承認を得られず、異性カップルには当然に保障される婚姻・家族の関係を保護する枠組みすら与えられていないのはきわめて不合理です。

政府もこれまで憲法24条において「同性婚は想定されていない」としつつも、「同性婚が違憲である」とは説明していません。最近の各種世論調査では、同性婚の法制化への賛成が反対を上回っており、同性婚を法的に認めた場合でも、国民が何らかの不利をこうむることは考えられません。

よって、国は同性婚の法制化を進めることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

久喜市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 あて
法務大臣

意見第2号

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和5年6月26日

提出者 久喜市議会議員
大橋 きよみ
斉藤 広子
賛成者 久喜市議会議員
新井 兼
川内 鴻輝
杉野 修
貴志 信智
宮崎 亜希
田村 栄子

久喜市議会議長 上條 哲弘 様

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

文部科学省「学校基本調査」によると、特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、10年間で、特別支援学校については学校数が約11%増加、児童生徒数は約14.3%増加、特別支援学級は1.6倍に増え、児童生徒数は2.1倍に増加している。また、通級による指導を受けている児童生徒数は約2.6倍に増え、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要になっている。

このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校・学級への専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠である。また今日、共生社会の形成に向けて、「障害者の権利に関する条約」に基づき、子どもたちの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、そのためにも我が国の特別支援教育のさらなる拡充が必要である。

よって政府においては、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、さまざまな障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学

校・学級等への教員等の適切な配置に向けて、以下の事項について財政措置を含めた特段の措置を講じることを求める。

記

1 特別支援教育支援員の適切な配置

障がいのある児童生徒に対し、食事、排泄、教室移動の補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童生徒に対し、学習活動上のサポート等を行う特別支援教育支援員の適切な配置への支援。

2 特別支援教育コーディネーターの適切な配置

保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、学校内の関係者や福祉・医療等の関係機関との連絡調整の役割を担い、子どもたちのニーズに合わせた支援をサポートする特別支援教育コーディネーターの適切な配置への支援。

3 看護師等の専門家の適切な配置

医療的ケアが必要な子どもや、障がいのある子どもへの支援を的確に実施するために、看護師、ST（言語聴覚士）、OT（作業療法士）、PT（理学療法士）等の専門家の必要に応じた適切な配置への支援。

4 特別支援学校のセンター的機能の強化

各学校でインクルーシブ教育を一体的に進めるために、担当の教員だけでなく学校長等に対する指導や研修等を実施し、校内全体での取り組みを促進するために、特別支援学校のセンター的機能強化への支援。

5 特別支援教育デジタル支援員（仮称）の配置

GIGAスクール構想により整備された1人1台の端末を、特別支援学級や特別支援学校において、授業はもとより、個々の特性や教育的ニーズに応じた支援ツールとして有効に活用するための特別支援教育デジタル支援員（仮称）の配置への支援。

6 特別支援学校教諭等免許状の取得支援

特別支援学校教員の特別支援学校教諭等免許状の取得率は87.2%となっており、特別支援学校における教育の質の向上の観点から、教職員への取得支援の強化や、大学等における特別支援教育に関する科目の修得促進等、教職員に対する特別支援学校教諭等免許状の取得への支援。併せて、特別免許状についても強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

久喜市議会

財 務 大 臣
文 部 科 学 大 臣 殿

意見第3号

マイナ保険証に伴う国民の不安解消を求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第14条の規定により提出します。

2023年6月26日

提出者 久喜市議会議員
川 辺 美 信
猪 股 和 雄
賛成者 久喜市議会議員
田 村 栄 子
宮 崎 亜 希

久喜市議会議長 上 條 哲 弘 様

マイナ保険証に伴う国民の不安解消を求める意見書

マイナンバーカードの活用拡大に向けた改正マイナンバー法が6月2日の参院本会議で賛成多数で可決成立し、2024年秋に現在の健康保険被保険者証の廃止が決定された。しかし、マイナンバーカードの申請が義務化されるものではないとも説明している。

マイナンバーカードは任意の申請に基づいて交付されている。2023年5月10日現在のマイナンバーカード実保有枚数は約8,367万枚（人口比66.4%）であり、残りの約3分の1の国民が何らかの理由により申請しない、または申請できずに保有していない。

一方、日本ではすべての国民は公的医療保険に加入する国民皆保険制度が確立しており、被保険者にはすべて被保険者証（保険料・税の滞納状況によって短期被保険者証または資格証明書など）が交付されている。政府は現在の被保険者証を廃止した後に、マイナ保険証を持たない被保険者には「資格確認書」を発行するとしているが、すべての健康保険被保険者がこれまでと同様に医療を受ける権利を保障されるのか、懸念と不安が広がっている。また、医療機関におけるマイナ保険証によるオンライン資格確認システムで、患者情報が確認できないなどの混乱も多く報告され、いったん10割負担が求められたケースも出ている。

政府は、マイナンバーカードと健康保険被保険者証を一体化した後においても、国民皆保険制度を守り、すべての国民が医療を受ける権利を侵害されることのないよう、国民の不安を払拭すべきである。

そこで、以下について早急に対応方針を明らかにするよう求める。

記

- 1 マイナンバーカードの交付およびマイナ保険証の登録は申請によることになっているが、健康保険被保険者証は申請ではなく被保険者に当然に交付されている。被保険者証に替わる「資格確認書」も同様に、申請によらず交付すること。
- 2 認知症、障害者など、マイナンバーカードおよびマイナ保険証の申請が困難な被保険者に対し、「資格確認書」を申請によらずに交付すること。
- 3 高齢者施設や障害者施設入所者の多くは、現在は施設で被保険者証を管理しているが、マイナンバーカードを施設で管理することは困難である。そこで、現在の被保険者証を廃止した後も「資格確認書」を申請によらずに交付すること。
- 4 医療機関におけるマイナ保険証（オンライン資格確認）システムの不具合により、被保険者情報が確認できない場合でも医療をスムーズに受けられるように、マイナ保険証登録者にも「資格確認書」を交付すること。
- 5 マイナンバーカードを紛失した際などにも、「資格確認書」を使えるようにシステムを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

久喜市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣 あて
厚生労働大臣
デジタル大臣

意見第4号

教職員の長時間過密労働の解消を求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第14条の規定により提出します。

2023年6月26日

提出者 久喜市議会議員
渡辺昌代
杉野修
賛成者 久喜市議会議員
猪股和雄

久喜市議会議長 上條哲弘 様

教職員の長時間過密労働の解消を求める意見書

文部科学省は令和5年4月28日、2022年度の教員勤務実態調査の結果（速報値）を公表しました。それによると、1週間の勤務時間が過労死認定ラインの60時間を超える教員は中学校で37%、小学校で14%にのぼり、同省が2019年の指針で残業時間の「上限」とした「月45時間」に達していた教員は中学校で77%、小学校で64%という結果でした。

経済協力開発機構（OECD）の2018年調査では、日本の小・中学校教員の勤務時間は参加国中最長で、なかでも事務業務や課外活動の長さが際立っています。

いま教育現場では教員不足が深刻化し、教員からは、「今、手を打たなければ学校が崩壊する」という強い危機感が表明されています。名古屋大学の内田良教授らのグループが行った教員の働き方に関する調査でも、教員の8割以上が教職を魅力ある仕事と感じている教員でも、半数がこの2年ほどの間に「教員を辞めたいと思ったことがある」と回答しています。また、過酷な労働環境で精神疾患を発症する教員も多く、いま必要な予算をつけ、教員の働き方の改善に乗り出さなければなりません。

教員の残業が常態化する大きな要因の一つは、残業代の代わりに、給与月額額の4%相当の「教職調整額」を支払うことを定めた公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の存在があげられます。教員がいくら長時間働いても残業代が支払われず、本来教員にも適用される「1日8時間労働」の原則がないがしろにされ、教員の長時間労働の温床となってきました。

いま教育現場では過酷な働き方が原因で、学級担任も見つからないなどの教員不足が広がっており、教員の長時間労働の解決は待ったなしの課題となっています。

よって国においては、教職員の抜本的な定数改善と併せ、長時間労働の温床になってきた残業代不支給制度を廃止し、教育労働の特性に考慮した残業代支給の法制度を創設するよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

久喜市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣

あて

意見第5号

インボイス制度の実施の中止を求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第14条の規定により提出します。

2023年6月26日

提出者 久喜市議会議員
石田利春
杉野修
賛成者 久喜市議会議員
川辺美信

久喜市議会議長 上條哲弘 様

インボイス制度の実施の中止を求める意見書

物価高騰が暮らしと営業に深刻な影響を与えています。2023年10月1日から複数税率に対応した消費税の仕入税額控除方式としてインボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施に向け、昨年10月からインボイス発行事業者の登録申請が開始されています。対象となるのは、1,100万人を超えると見込まれ、農林水産業者、俳優や劇団関係者、個人タクシーや軽輸送ドライバー、塾や音楽教師、プロアスリート、シルバ一人材センター会員など多岐に上ります。

これまで年間の課税売上高が1,000万円以下であれば消費税の納税は免除されていましたが、インボイス制度の登録事業者になれば売上高にかかわらず納税義務が発生することに加え、発行する請求書の様式変更、システムの入替え、改修など多大な事務、経費の負担が生じることになります。消費税免税事業者はインボイスが発行できないため、課税業者との取引から排除され、廃業を余儀なくされる懸念があります。

財務省はインボイス制度の導入で161万人の免税事業者が新たに課税事業者になり、消費税率を引き上げなくても2,480億円の増収になると試算しています。

同制度の導入は、長引くコロナ禍によって打撃を受けている事業者に追い打ちをかけ、地域経済の再生を阻害しかねないと、日本商工会議所や全国中小企業団体中央会、日本税理士会連合会はじめ様々な団体・個人から、制度の廃止や実施延期を求める声が上がっています。よって、政府に対し、中小企業・小規模事業者の事業存続と再生、ひいては日本経済振興のため、インボイス制度の実施を中止することを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

久喜市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣

あて